



2月ピッコロだより

[2月の活動] ルールを知ろう/こんなときはどうする?/インタビューしよう



月	火	水	木	金	土
2 自分の周りの ルールを知ろう (学校編)	3 節分活動 	4 自分の周りの ルールを知ろう (学校編)	5 自分の周りの ルールを知ろう (学校編)	6 自分の周りの ルールを知ろう (学校編)	7 自分の周りの ルールを知ろう (学校編)
9 自分の周りの ルールを知ろう (公共施設編)	10 自分の周りの ルールを知ろう (公共施設編)	11 建国記念日	12 自分の周りの ルールを知ろう (公共施設編)	13 自分の周りの ルールを知ろう (公共施設編)	14 クッキング
16 買い物活動 	17 こんなときは どうする? 	18 こんなときは どうする? 	19 こんなときは どうする? 	20 こんなときは どうする? 	21 こんなときは どうする?
23 天皇誕生日	24 インタビューを しよう! 	25 インタビューを しよう! 	26 インタビューを しよう! 	27 身体を動かそう 	28 インタビューを しよう!

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本):7日(土)、24日(火)

言語聴覚士(永山):3日(火)、6日(金)、12日(木)、16日(月)、19日(木)、27日(金)

理学療法士(樋口):9日(月)、17日(火)、28日(土)

作業療法士(太平):2日(月)、13日(金)、20日(金)、26日(木)

中学生の活動

2/14 :クッキング

2/28 :ウィッシュリストを
作ろう



今月の主な活動

自分の周りのルールを知ろう:社会生活場面において、決められたルールやマナーを確認します。自分の知っている身近なルールやマナーはなぜ必要なのか、目的や理由をみんなで考えることを通し、日常生活の中で状況に応じて行動する意欲を高めます。

こんなときはどうする:学校や人とのやりとり等、日常の具体的な場面を想定したロールプレイを実施し、さまざまな対処方法を身に付けます

インタビューをしよう:「分かりやすく伝える」「質問の内容を考える」「最後まで話を聞く」等、相手に配慮したやりとりの仕方を確認します。また、お互いにインタビューをし合うことで、友だちの新たな一面を発見し、興味や関心を深めます。

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、**平日 16時20分まで、土曜日(午前)10時~10時20分まで、(午後)13時30分~13時50分まで**にお願いします。
- ・お迎えは、**平日 17時20分~18時00分の間、土曜日(午前)11時50分~12時10分の間、(午後)15時20分~15時40分の間**でお願い致します。
- [キャンセル待ちについて]
 - ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、**平日は当日の午前中まで、土曜日は前日まで**にトリアより連絡をさせていただきます。
連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。
- [欠席連絡について]
 - ・**平日は 16時以降、土曜日(午前)当日 9時30分以降、(午後)13時以降**の欠席連絡となりますと、**おやつ代(¥70/日)**を**ご負担頂きますので、ご了承ください。** **当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡をお願いします。**
また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。
- [利用料のお支払いについてのお願い]
 - ・いつも事業所の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 - ・**利用料のお支払いにつきまして、スムーズな対応のため、できるだけお釣りのないようご準備いただけますようお願い致します。**



～これまでの歩み、そしてこれから～

児童発達支援センター希路保護者 竹下 香奈

息子が希路に通い始めたのは、3歳になってすぐのことでした。まだ幼い息子が、家でも保育園でもない場所に一人で通うことに、親として心配と不安、そして申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、そんな親の思いをよそに、息子はすぐに希路を自分の居場所にしてくれました。

はじめの頃、保育園での送迎の様子を隠れて見ていたことが何度もあります。先生に手を引かれ、嬉しそうに車に乗り込む姿を今でも鮮明に覚えています。希路がお休みの日でさえ「行きたい」と鞄を離さず、保育園に着いてから息子にバレないよう慌てて鞄を持ち帰ることもあったほどです。息子にとって、それほどまでに大好きな場所を作ってくださった先生方には、感謝の言葉しかありません。希路は私たち親子にとって、なくてはならない場所です。

あんなに小さかった息子も、春から特別支援学校の1年生です。漠然としていた就学についても、先生方に話を聞いていただく中で前向きに見据えることができ、今では不安よりも楽しみな気持ちの方が大きいです。

今もまだお喋りはできない息子ですが、心の声をしっかりと聞き、息子が息子らしく笑顔で過ごせるよう、親として見守り支えていきたいと思います。

これからも、私たち親子をどうぞよろしくお願ひいたします。



～あっという間の十年間～

放課後等デイサービスピッコロ保護者 田中 美紀

娘は、現在高校1年生です。幼稚園の頃のセルクから始まり、現在のピッコロまで、もうかれこれ10年はお世話になっています。3歳児健診で療育を勧められたのをきっかけに、セルクの見学や待機を経て、通所を始めました。その後、ありがたいことにタイミング良く、中高生の受け入れが始まり、長い間お世話になり続けています。

これまでの10年間、小学校はもちろん、特に中学校では本当に様々な大変なことがありました。体調面でも小学1年生の時から片頭痛や他の不調があった時でも、ピッコロには行きたいと楽しみにしていました。先生方に話を聞いてもらうことや、ピッコロの友だちと過ごす時間が娘にとって「心の拠り所」になっていると感じました。また、成長と共に、通い始めた頃の心配や課題が良い方向へ向かったと思っても、新たな課題が持ち上がることがあります。そのような時も先生方のご指導のおかげで、娘の気付きや成長がみられ、とても嬉しく思います。それから、お迎えの時の先生とのお話では、アドバイスを頂くことがあります。親の私より娘のことを理解してくださっているように感じることもあり、こっそり驚いたり、感激したりしています。高校生になって、今までとは大きく環境が変りましたが、「今までの娘は何だったの?」というくらい頑張っています。大変なこともあると思いますが、「青春を謳歌しているなあ」と嬉しく思います。でも、根っここのところは変わらないので、高校卒業までピッコロで楽しく学び、成長していくらと思います。これからもよろしくお願ひいたします。

